

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年6月14日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【大型機器除染設備コンプレッサ(C)本体モニタ及び運転表示ランプの消灯について】 協力企業作業員が大型機器除染設備コンプレッサ(C)の手動起動操作を行うため、本体にある表示モニタ(通常は消灯している)の操作をしたところ、消灯画面状態から通常操作画面に切り替わらなかった。 その後、当社社員が状況を確認し、画面の切り替えができないことからコンプレッサ(C)は使用できないと判断したため、大型機器除染設備コンプレッサ(C)の電源を「切」とした。 なお、当該設備は、現在のところ作業に影響は出ていない。 今後、原因調査および再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	6月9日
2	<p>【1号機使用済燃料プール循環冷却設備(B)系の無停電電源装置の故障について】 当社社員が、1号機使用済燃料プール循環冷却設備「入出力装置盤B異常」の警報が発生したため現場を確認したところ、無停電電源装置のバッテリー性能低下を示すランプが点灯していた。 同警報の発生に伴い、「待機中」の燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)起動が不可能となったことから、「非待機」扱いとした。 なお、運転中の1号機燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)の運転状態、パラメータに異常はなく、プールの冷却は継続中。 今後、当該無停電電源装置のバッテリーを交換予定。</p>	GⅢ	6月9日
3	<p>【増設雑固体廃棄物焼却設備の灰ホッパ内における水の確認に伴う停止について】 当社社員が、増設雑固体廃棄物焼却設備の飛灰(ひばい※1)を充填しておく飛灰充填機の内部を確認したところ、灰の充填口より水の滴下を確認した。 現場を確認したところ、飛灰充填機の上流にある飛灰ホッパ(※2)の内部に水があることが分かった。 原因調査および設備の点検が必要と判断し、当該設備を停止した。 なお、水の系統外への漏えいは確認されていない。 今後、原因調査および再発防止対策を検討予定。</p> <p>※1 飛灰：廃棄物を焼却した際に発生する、排ガスに含まれるダスト(ばいじん)。 ※2 飛灰ホッパ：飛灰を一部貯留する容器</p>	GⅢ	6月10日